

主な政務活動

【県外視察】

私が所属する民主・県民連合議員会第1部会は2月2、3の両日、宮城県内で県外視察を行いました。参加者は、自分をはじめ部会長の椎根健雄議員(郡山市)西丸武進、古市三久両議員(いわき市)、高橋秀樹議員(福島市)、円谷健市議員(石川郡)の6人。視察先は仙台市南蒲生浄化センター、同市の域防災集団移転促進事業、県立子ども病院などでした。

浄化センターでは、オイルを生産する能力を持つ藻類を使った再生可能エネルギーの研究状況を見ました。下水汚泥や汚泥焼却時の廃熱などを利用して藻類を培養、抽出したオイルを使い、浄化センター内の電気をまかなうなどの循環型システムを見学しました。

集団移転先では、仙台市中心部から東部から約5キロに位置する新興住宅街。地下鉄東西線も開通したこともあり人気の団地とのことでした。約6メートルかさ上げた団地では、住宅建築が急ピッチに進んでいました。現場の確認などを行った結果、子育て世代も多く入居しており、近隣の小中学校が手狭になっているとのことでした。震災と原発事故を機に、物や人の流れが仙台への一極集中が加速しているといい、その様子が垣間見えました。

子ども病院は、東北唯一の病院。公設民営方式で運営しており、地域の小児科などでは対応できない重篤な疾病や慢性疾患に対応している。ただ、難病を患う子どもたちにストレスをあまり感じさせないような遊園地のような造りになっていました。本県でも福島医大が子ども病院設置に向けて計画中です。子どもの痛みや苦しみが少しでも和らぐことができるような雰囲気作りも必要と痛感しました。



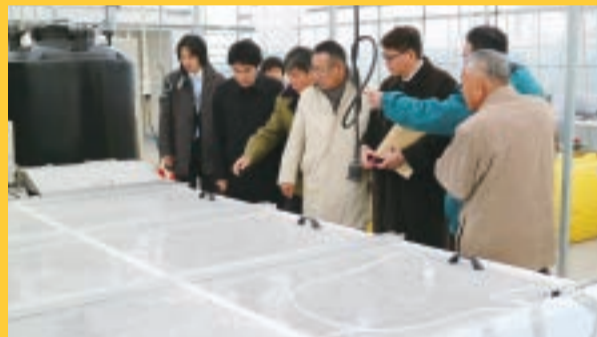
県立子ども病院内の様子。遊園地のような室内でした



県外視察を受けて記念撮影



集団移転先の様子を視察しました



藻類バイオマス研究の様子を視察しました



▲子ども病院の外観

◀仙台市の県立子ども病院を視察しました

【いわきサンシャインマラソンに初参加】

結果は…35キロに設定されていた時間制限5時間以内の壁を破れず、強制的に途中棄権しました(泣)。いわき市の荒川運動公園をスタートに小名浜のアクアマリンふくしまをゴールとした表記マラソン大会は2月14日に行われました。冷たい雨と強風が吹く中での大会となりました(都内などでは春一番が観測されました)。20キロぐらいまでは大丈夫でしたが、中之作や江名、塩屋崎の灯台付近の雨を伴った向かい風と寒さに急激に体力を奪われ、その後一気に上昇した気温についていけず歩くことも多くなってしまい、足切りとなりました。筋肉痛が癒えた1週間後に練習を再開したところ、今度は座骨神経痛を発症、40歳ということで無理は禁物であることを自覚させられました。



いわきサンシャインマラソンに初参加。次回こそは完走だ

【細野豪志民主党復興推進本部長らの来県視察に同行】

2月15日に同行しました。いわき市、双葉郡内の復興状況調査のため、細野本部長をはじめ黄川田徹本部長代行、郡和子ネクスト復興大臣、金子恵美同復興副大臣、後藤祐一震災復興特委員の国会議員が来県しました。本県側としては吉田泉第5区総支部長らに対応。津波被災地の豊間復興事務所のほか、広野町に開学したふたば未来学園、県立大野病院附属ふたば診療所「リカーレ」、富岡町の浜通り電力所に移った東京電力復興本社などを見学、視察し、現況を調査しました。



丹野校長の話に聞き入る細野代議士



楳葉町にできた廃炉モックアップ施設の内部



細野代議士らを囲んで記念撮影

近く、橋本とおる事務所をいわき市に開設予定！開設次第お知らせします。

県政行政相談はお気軽にどうぞ！

〒960-8116
福島市春日町3-8
携帯
090-3128-5214
E-mail
toru.hashi112@gmail.com



マラソン大会激走中。この頃は元気でした